

9月1日(日)

## 総合防災訓練を実施

市では、防災に対する意識を深め、その知識や技術などを習得していただくために総合防災訓練を行います。

詳しいことは、防災対策課（89局2194番）へ、お問い合わせください。



**日時** 9月1日(日) 午前8時30分から11時まで

**会場** 自衛隊グラウンド他

**内容** 自主防災会による初期消火、応急救護、避難所開設訓練や陸上自衛隊、警察、消防による救出救助訓練、通信訓練など

**その他** 当日は、訓練開始時に同報系防災行政無線のサイレンを鳴らします。また、会場内に防災メーソールの登録ブースを設置します

### あいちシエイクアウト 訓練にご参加ください

県では、「あいちシエイクアウト訓練」を実施します。これは、地震から身を守る安全行動を県内一斉に呼び掛け、自ら行う防災訓練です。

訓練は、9月1日(日) 正午か

ら1分間、時報などの合図とともに  
に行います。ご自身がいる場所  
「しせいをひくくあたまをまもり  
じつとする」といった災害時の基  
本行動を行ってください。

参加を希望する方は、参加人数の把握のため、ホームページ  
(<http://aichi901.jp>) から登録してください。FAX(052-954局6911番)でも登録できます。

詳しいことは、県防災局災害対策課(052)954局6149番)へ、お問い合わせください。

### 災害時要援護者支援制度に ご登録ください

市では、災害時に自分の身を守ることが困難な障害者や一人暮らしの高齢者などを対象とした「災害時要援護者支援制度」を定めています。

詳しいことは、防災対策課(89局2194番)へ、お問い合わせください。

#### ■災害時要援護者支援制度とは

自主防災会、地域支援者、民生委員・児童委員を中心とした地域社会の互助により、災害時要援護者台帳に登録した障害者や高齢者に対して、平常時からの見守りや災害時に人的被害の防止や軽減を図る支援を行います。登録を希望する方には、申請書など登録の案内を送付しますので、必要事項を記入の上、ご提出ください。

対象は①身体障害者のうち肢体不自由の障害の程度が1級から3級までの方および視覚障害の程度が1級もしくは2級または聴覚障害の程度が2級②知的障害者のうち障害の程度がA判定③精神障害者のうち障害の程度が1級④一人暮らしの高齢者(65歳以上)⑤在宅の要介護高齢者であって要介護3から5まで——などのいずれかに該当する方です。

詳しいことは、①から③に該当する方は福祉課(89局2131番)へ、④⑤に該当する方は介護高齢課(89局2173番)へ、お問い合わせください。

～将来を担う子どもたちが希望をもてるまちを目指して～

## マニフェスト工程計画に対する市長自己評価表

平成 24 年 2 月に公表したマニフェスト工程計画の 48 項目について、昨年度までの実施状況や本年度の取り組みを明らかにするとともに、事業によって得られる成果や工程計画に対する進行状況を勘案して、市長が 5 点満点で自己評価しました。総合評点は 100 点満点中 72.9 点でした。この自己評価表は、市ホームページのトップページにある「話題のキーワード」からご覧いただくことができます。

詳しいことは、企画政策課（89 - 2126）へ、お問い合わせください。

### ■ 5つのまちづくりの総合評点:72.9点／100点(対前年度+7.2点)

#### 1. やすらぎやうるおいのある安全・安心なまちづくり(評点結果:14.5点、対前年度+1.5点)

項目	実施内容	進ちょく状況に対する自己評価(評点)	
指定避難地の見直し及び避難経路の確立	津波危険区域において、効果的に避難する経路を地元自主防災会と調整し、避難誘導看板を設置する。	工程計画に沿って進んでいると評価する。消防署南分署への避難経路となる仲荒野口1号線については、早期整備が必要と考える。	3点 (3点)

#### 2. 子どもたちの笑顔があふれ、文化のさかんなまちづくり(評点結果:15.2点、対前年度+3.2点)

項目	実施内容	進ちょく状況に対する自己評価(評点)	
老朽化した校舎の計画的な建替え	老朽化した校舎の改築を計画的に実施する。	工程計画に沿って進んでいると評価する。	3点 (3点)
駅伝大会の誘致及び民間団体によるリレーマラソンへの支援	陸上競技場を会場とした駅伝大会の開催を検討するとともに、実施しているリレーマラソンを支援し、平成 26 年度から実施を引き継ぐ。	リレーマラソンは、豊川ビジョンリサーチの尽力により、参加者も増加し目玉イベントとして定着した。駅伝大会の誘致については、開催の見込みが立っていない。	3点 (2点)

#### 3. 生涯を健康で安心して暮らせるまちづくり(評点結果:14.5点、対前年度+1.5点)

項目	実施内容	進ちょく状況に対する自己評価(評点)	
新市民病院の建設及び救命救急センターの設置	新市民病院の建設を進め、平成 25 年 5 月連休明けの開院を図る。また、開院後、救命救急センターの設置申請を行い、早期開設を図る。	新市民病院は、平成 25 年 5 月に開院した。救命救急センターの設置については、工程計画に沿って進んでいると評価する。	4点 (3点)
子ども医療費の中学生通院完全無料化	中学生の通院に係る医療費のうち、保険診療自己負担分の助成範囲を全額に拡大する。	2 期 6 年目の平成 25 年度当初予算編成で、待望の中学生までの医療費完全無料化を達成した。	5点 (3点)

#### 4. 都市基盤が整い、にぎわいと活力あふれるまちづくり(評点結果:14.7点、対前年度+1.0点)

項目	実施内容	進ちょく状況に対する自己評価(評点)	
豊川海軍工廠跡地に平和公園整備	平和公園の整備を進める。	平成 26 年度に公園整備の基本計画を策定するため、本年度、外部委員を含めた検討委員会を設置する。	3点 (2点)

#### 5. あらたな行政改革と住民との協働のまちづくり(評点結果:14.0点、対前年度±0.0点)

項目	実施内容	進ちょく状況に対する自己評価(評点)	
少数精鋭計画の着実な実行	少数精鋭計画に基づき、行政需要に合わせた適正化と人材育成基本方針のブラッシュアップを図る。	本年度での計画削減数を 16 人達成できなかったが、現在の行政需要を勘案すると適正な新規採用であったと判断する。1 期目からの 6 年間で 170 人削減しており、概ね工程計画に沿っていると判断する。	3点 (4点)

マニフェスト工程計画は、市長のマニフェストにある 48 項目について、事業の実施内容、実施(達

成)時期などを明らかにしたものです。今回、このマニフェスト工程計

画に対して、市長が自己評価した評価表の中から主な項目を選び、ご紹介します。

#### 評点の配点方法

- 評点は、各項目 5 点満点評価の数値を使っています。
- 5つのまちづくりの評点は、それぞれ 20 点満点とし、合計 100 点満点としています。
- 評点結果は、まちづくりごとに各項目の合計値を算出し、その数値を 20 点満点に置き換えた評点です。
- 評点の括弧書きは、前年度の評点です。

#### 評点内容

- 5点：工程計画を実行し、事業の完了または目的達成
- 4点：工程計画より早いまたは内容を越えた実施
- 3点：工程計画どおりの実施
- 2点：工程計画より遅いまたは内容に満たない実施
- 1点：工程計画よりかなり遅いまたは内容に満たない実施
- 0点：工程計画が頓挫している事業、中止と判断した事業